



異種姦

ファンタジー
第二章第一弾!

トレットの囚役

異種姦

天才魔術師に

S AMEN 第二章

FANTASY

魔術師を囚に使う
前衛など死んで

しまえばいい!!

成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止





もし落ちそうになっても落ちる前にキャッチするし？

そうならない事を願いたいものだな

二人もちゃんとしがみついてくれてたら大丈夫だろ

振り落とされないうよう頑張ります！

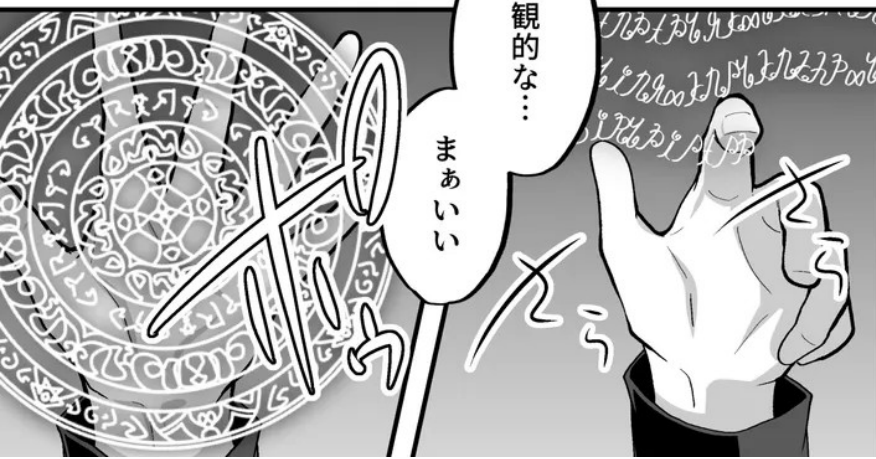
楽観的な…

まあいい



途中で落とさないでくれよ？

ちゃんと縛りもするし大丈夫だって





では
行こう

はいさ……

地面が
みるみる
凍って……



それじゃあ
舌噛まない
ように

うわあ!?

気を付けて
なっ!

ダッ

ジャ



!

邪魔



すぐに
スライム以外も
出てくるぞ
君も剣を



分かってるって



よそ見を
するな!

先生とは
三年前に西の
山脈で一緒に

昔話は
後にしろ
馬鹿者!



勇者様も
魔術師さまも
すごいです!
息が
ぴったり
ですね!

だろ〜?



予想より低木の
量が多く直線の
道が選べない！

このままでは
魔力消費量が
激しすぎる！

このスピード
ですから結構奥まで
来ましたよね…？

いつの間にか
通り過ぎたとか？



この速さで
最適な足場を
判断しつつ

右手で常に
構築しながら発動
させ続けるのは
やはりキツイ

ちゃんと前も
見てる見てる

あとどれ程の
距離がある!?

横や上から飛び出してくる
モンスターを一匹も
討ち漏らす事無く対処
し続けている勇者は流石と
言わざるを得ないが…

しかし
このままでは…



了解っ

はあ!?
一度止まって
位置を確認しろ!!

魔力消費は
結界魔術を展開
する方がマシだ！

止まったら
モンスター
寄ってくるぞ？



…なんとか
クニクニ…

もう少しマシな
止まり方は
無かったのか…

んむっ!?

で?
場所は?

師匠の家までは
いつも師匠に
付いて行って
いただけなので
私には
分かりませんが…

オレも詳しい
場所までは
知らないぜ?

二人とも
大丈夫か?

ガッ

ぐっ

ぐっ

カッ

ぐっ



なあ？

エルフ族の
師匠なら
分かるん
ですけどね



二人の話を詳しく
聞かなかった
僕の落ち度か…！

昨晚の事が無ければ
話をもっと話していたはず…



まさかとは
思うが…

二人とも詳しい
場所が分からないと
理解しているうえで
この作戦を提案
したと…？

ぶらーん

そりゃあ

森の景色の違いなんて
人族のオレ達に
分かるわけないだろ？



そう
ですね！

あいつが来なく
てもコボルトに
会えれば道案内は
してくれるんじゃないか？

そうだと
良いんですが…

番人に会えなかった
場合は一度引き返す
べきだろうから方角
だけは常に意識して
おかなければ…

本当に君の師匠
という立場ならば
あちらから迎えて
くれるかもしれない



…この辺りなのは
確かなのだろうか？
であればここからは
普通に歩こう

番人である
エルフ族には森に
入った時点で
僕達の事は把握
されているはずだ

トッ



少しでも
見覚えのある
道など無いかな？

近くには
地下に行ける
穴があったり

池があったり
したのは覚えて
るんだけどなく

岩場も
ありました

先ほどから
モンスターの
姿がない…？

これは…



勇者

この辺りは
トレントの縄張りにな
っている可能性が
高いと思わないか？

オレも
思ってた

虫型すら
いないもんな

この辺りの風景
には既視感が
あるような
ないような…

でもこれなら
探しやすい
良くない？



私は森には殆ど
出ていませんでしたが
勇者様はコボルトと
一緒に色々と探索
したんですね？

食えるモン
探してただけ
だしなあ

!?



この辺りか!?

確認も無く
なんとなく
ですよ？

勇者様は
この辺りに
見覚えは
ありませんか？

見覚えって
言われても
なく…

やはり
トレントの
縄張りか!!

君は勇者の
前に入るなよ!?

ちょっと
トレントの相手
しといてくれ!

魔術師様っ!?

僕は
大丈夫だ!

勇者様!?

何っ!?

この辺りが
コレの縄張りなら
他のモンスターは
出ないだろ?

下がって!

先生なら
あれくらい
余裕余裕

だからこの
隙にさくつと
あいつの家
探してくる!

はあ!?!

でも...っ

出来るだけ
すぐ戻るから
倒さない程度に
いなしといて!

そうだ!

先生!

待てっ!?

そんな...!?

ダッ

ズッ



もう殆ど残っては…

枝が多いつ!!

くっ!

そんな…



っ!?

そんな魔力…

魔力が…っ



クソッ!!

魔力を使い切っている僕にどうしろと!?

クッ



実さえ口に出来れば
魔力を取られても
感覚は遮断できる！

くっ…

もっ少し…

多少の
副作用は
あるが

せめて感覚
だけは無くさ
なければ…っ！

あと少し…！

痛—っ!?



このまま
魔力を取られる
のは危険だっ！

勇者が戻る
までは実を食べて
しのぐしか…



グイッ

グイッ

グイッ

グイッ

グイッ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ

ニョ



何故だ!?

痛…

離れ…

ないっ

鳶は魔力を奪う為の行動しかししないはず…

こんな痛めつけるような知能などトレントには無いはずだ!

ペニスが痛い…っ!!

枝の拘束が邪魔だっ!

っ!?

中に…っ

クンニー…

枝ですら本能以獲物を拘束するだけで抵抗を邪魔するような知能など無いはずなのになんだこれは…!?



このような動きはやはりおかしい!!

森の調査とはモンスターの知能が上がっているという事か!?

情報が少なすぎる!

!?
緩ん

うっ!?

中の鳶が...

膀胱を...!!

ぐっ...

う...

うっ!?

ぬち...

うっ!

うっ!

うっ!





これが本能
だとも!?

こんな弄る
ような動き...

実さえ口に出来て
いれば痛みも
何も感じずに...

少しは冷静に
分析出来たと
いうのに...

何っ!?

何だっ!?

尿が吸われ...!?

いや...!
入って
いるのか!?

う...う

っ!?

アッ...

うあっ!?

んうっ!?

ん...

いっ

ん...

め...

め...

め...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

痛い！

痛いっ!!

モンスターが
尿道へ進入する
という事例は何度も
目にしてはいるが

こんな
滲みるような
痛みなのか!?

ああ…っ

あ…っ!?

まさか
裂けた!?

どこまで
入っ—!?

ひびっ!?

ぐうっ

うぐっ

うっ

ぐうっ

ぐうっ





腹が…っ!!

内臓がっ!!

潰れるっ!!

無理だ…

無理だ…

尊厳が…

脳が…

心が…

僕が……

こんな…

体は魔術で
治せても…





お前ら
邪魔!

先生の魔力
たらふく
食ったんだから
もういいだろっ

遅くなって
悪かったよ

流石にここまで
酷い事になってる
とは思わなくて…



と…
とりあえず



あいつの家
隠されて見つける
のにも時間が
かかっちゃってさ



先生がトレントを
足止めしてくれてた
おかげで家も
見つかったから…

行こうか



ま…
て…
トホッ…



魔力無いなら
無理だっ

もやす…



うっ…



トレントの
縄張りのまま
突っ切った方が早い
からまた今度な!

今は先生の
治療が先!

気持ちは
分かるけど

もやす…

にげ…
いや…

アッ



魔力無きや
燃やせない
ってば

もやす…

裂けちゃって
るし…

ごめん
痛かった?

う…っ

アッ



もう頭も
回って
ないだろ?

その
調子じゃ

や…

もやす…

あゝあ…
穴も開きっぱなしに
なっちゃって

んう…っ

アッ

ふっ

ふっ

おは

かっ



分かった
分かった

うわあ
トレントだけじゃ
なくなっちゃった

も...やす...

ま...
もり...

ここが
治ったらな



あいつと仲良く
なれば薬の事とか
魔法の事も教えて
くれるんじゃないか?

なか...

家に色んな薬が
あるらしいん
だけど
先生
そういうの
好きだろ?

そんな
事よりさ

ゆび...い...



それに...え...と...
森燃やしちやったら
森に住むエルフに
嫌われるかもよ?

そうそう
エルフ!

えるふ...

先生はエルフにも
興味あるんだろ?

だったら
早く行か
なきゃな

ゆび...
や...め...

トレント

森に根を張る植物型モンスター。
トレントに捕まると、枝や根を切ったとしても絶え間なく
捕捉しようとしてくる為、少しでも知能のあるモンスターは
トレントの縄張りには入ろうとしない。
枝にはりんごに似た実を付けており、この実には神経を麻痺
させる効果がある為、麻酔薬の材料になっている。

直接攻撃を仕掛けてくるモンスターではないが、幹の中には
無数の触肢があり、枝や根で獲物を捕らえると触肢が獲物の
体液を吸収し続ける性質がある為、捕らえられたままで
いれば獲物はそのうち干からびて死に至る。
触肢は粘液で覆われており、体液を吸収する為
に体内へ進入する事もあるが、通常のトレントなら
弄るような行動はしないらしい。



奥付

異種姦FANTASY 第二章

タイトル：天才魔術師にSAMEN

～トレントの囹役～

発行者：胡椒

サークル：ほんこつメガネ

発行日：2026/03/10

連絡先：kosho@ovo.booo.jp

こんにちは、胡椒です。

この度は天才魔術師にSAMENとトレントの囹役を
読んで下さりありがとうございます。

今回は魔術師サマが酷い目に合っていましたね。

仕方が無いですね、異種姦ファンタジーシリーズなので
異種にやられてこそそのストーリーです。

おかげで魔術師サマのお尻はガバガバですが、モンスター
の特性を知っていて、仲間と会話が出来るといっただけで一章の
主人公よりはマシだと思います。

仲間が自由人でも、年長の魔術師サマにはそう簡単に壊れず
強く生きて欲しいものです。

次回、天才魔術師にSAMENとエルフの秘薬

